

出願番号	特願2016-113309	管理番号	OP01185
発明の名称	角化歯肉誘導剤		
この特許が使われる産業分野・用途	歯科分野、角化歯肉誘導剤、オーラルケア商品(歯磨き粉等)		
技術の概要	<p>健全な歯の周囲には、粘膜上皮が角化した角化歯肉と非角化組織である歯槽粘膜が存在するが、角化歯肉は、歯周組織を長期間安定した状態に維持するために必要不可欠である。現在、歯周病等で角化歯肉を喪失して辺縁歯肉が歯槽粘膜のみとなった場合、外科的手法が唯一の方法である。</p> <p>本発明の角化歯肉誘導剤は、口腔粘膜上皮を角化誘導することが可能であるため、侵襲が少なく、組織再生の簡便な治療に有効に用いることができる。したがって、角化歯肉治療剤として好適に使用することができる。</p>		
請求項	<p>【請求項1】 口腔粘膜上皮を角化誘導するための角化歯肉誘導剤であつて、薬理的に許容される担体1gに対してLaminin332を0.1 μg ~ 1mg含む角化歯肉誘導剤を非角化歯肉に注入又は塗布により投与されるように用いられることを特徴とする角化歯肉誘導剤。</p> <p>【請求項2】 口腔粘膜上皮を再生させるために用いられる、請求項1記載の角化歯肉誘導剤からなる角化歯肉治療剤。</p>		
その他:			

問い合わせ先：岡山大学 知的財産本部 渡辺 裕
 電話：086-251-8472
 メール：wyutaka@cc.okayama-u.ac.jp